

高速道路の当面の新たな料金割引に関する計画（案）に対する意見

(社) 全日本トラック協会

◎今回の計画（案）について

1. 今回発表された「高速道路の当面の新たな料金割引に関する計画（案）」では、土日祝日上限1,000円の継続、平日への上制限の拡大による、終日2,000円など、乗用車に対する大幅な料金引下げが盛り込まれている一方で、マニフェスト上、高速料金引下げの主目標であった「物流コストの引き下げ」の面では、値上げとはならないもののほぼ現状維持にとどまるものとなっている。従って、今後の見直しに当たっては、改めてマニフェストの原点に立って、物流関係、とりわけ公共輸送に従事する営業用トラックに対する料金引下げについて、さらに検討をいただきたい。

また、今回の新たな料金割引によって予想される普通車の利用拡大による渋滞や事故の増加などについて、これまでの経験を踏まえ、各道路会社において適切な対策を講じていただくようお願いする。

また、NEXCOの割引については、当面3年間となっているが、その後の料金体系についても、現状よりも値上げとならないような制度としていただきたい。

2. 各高速道路別の具体的意見は、以下のとおりである。

(1) NEXCOについて

今後のさらなる見直しにあたっては、以下を検討いただきたい。

- ・基本料金の半額化等の引き下げ
- ・営業車特別割引の創設もしくは大口多頻度割引制度の思い切った深堀り

(2) 首都高速・阪神高速について

今回の改定については、対距離制の導入以外の点は現時点では詳細が明確でないが、「物流事業者向けの割引の拡充」の具体化に当たっては、特に以下の点についてお願いする。

- ・対距離制の導入による料金圏の撤廃には賛成である。
- ・営業用トラックは利用区間が長いため、対距離制に単純に移行する場合は、現在の利用実態からみて約8割の利用が実質値上げとなる。このため、上記「物流事業者向けの割引の拡充」によって、営業用トラックの利用料金が現状よりも値上げとならないようにしていただきたい。具体的には、
- ・大口多頻度割引についてNEXCO並に拡充を図られたい。
- ・車両単位割引を現行の最大5万円超12%を3万円超20%に拡充等
- ・契約者単位割引を現行5%から、10%へ拡充
- ・現行の平日・土曜の夜間割引（20%割引）の継続

(3) 本四高速について

- ・地域間の格差を是正するためNEXCOと一体的な料金体系としていただきたい。
- ・大口多頻度割引について、NEXCO並に拡充を図られたい。
 - ・車両単位割引を現行の最大5万円超13.8%を3万円超20%に拡充等
 - ・契約者単位割引の創設

(4) アクアラインについて

当面、2月25日発表の計画案のとおり実施をいただきたい。

以上